

・・・これが私の故里だ さやかに風も吹いている・・・

ご存知、詩人 中原中也 「帰郷」の一説です。
何時、どの場所に立ち止まり、どんな風景の中で
どのような心情で、この詩が詠まれたのでしょうか？
詩の中の情景が思い浮かんできませんか？
やっぱり・・・これがうちの故里っちゃーね！

・・・ほろほろ酔うて木の葉ふる・・・

放浪の俳人 種田山頭火 が秋に詠んだ句です。
山頭火の及ぼす経済効果は結構ありますよ。
金子が住む地元、嘉川には「山頭火」という銘柄の酒を造る酒造所があります。
山頭火というラーメン屋もあります。
山頭火鍋という名物料理もあります。
観光資源としても随所に庵や句碑が建てられています。
生産風景も景観形成上大切な要素と言えるのでしょうか。
酒造所のレンガの煙突は嘉川のシンボルです。
私たちが何気なく生活している地元を元気にしてくれる景観です。

・・・朝焼小焼けだ大漁だ大羽鰻の大漁だ・・・

童謡詩人 金子みすず 「大漁」の一説です。
美しい長門の港町の風情とやさしさがにじみ出ている詩だと思います。
数年前、全国女性建築士連絡協議会に出席した折、
同席した北海道の建築士の方からなげかけられた言葉が思い出されます。
「金子さんは あの金子みすずの親戚ですか？山口県は素敵なところなんでしょうねー！」
極端な質問に面食らった反面、私の育った山口がとても誇らしく思えました。
北海道に住む彼女にとっての「美しいやまぐち」のイメージは
みすずの詩によって醸し出されているのかもしれない。
また、詩が景観を伝えるソフトの役目をしているのではないのでしょうか。

詠めば詠むほどに、味の出る「景観蘊蓄」。
まずは私たちの生活している地元から発信してみませんか。